

どう考える？

AEDの屋外設置

(リベラル西条)

問

自動体外式除細動器（AED）は、事故現場まで往復で2分以内に持ち運べる場所へ設置することが理想とされており、設置・増設の際は持ち運ぶ時間を最大限考慮すべきである。

現在、AEDの設置に当たり、盗難防止などを考慮し屋内に設置しているが、屋外への設置や増設について、どのように考えているのか。

答

現在、社会体育施設に設置されたAEDは、管理



西条市総合体育館に設置されているAED

事務所や体育館などの屋内で管理しており、施設が利用できる時間帯は管理人が常駐していることから、事故発生から3分以内に処置できる配置となっている。また、学校、公民館なども

AEDを屋内に設置しており、施設が閉まっている時間帯に使用する場合は、窓を破って取り出してもらおうよう周知している。

なお、市には貸出用のAEDを3台配置しており、管理人がいない施設を利用する場合や、各種イベント、スポーツ大会などにも対応できるようにしている。

AEDの屋外への設置については、盗難やいたずらによる事故が心配されるなど、管理面や安全面での課題があるが、その有効性については認識しており、今後の検討課題としたい。

企業とともに歩む

まちづくりを！

(リベラル西条)

問

本市は、世界のものづくりを支える中小企業が集積しており、今後、更に企業とともに歩んでいくためにも、企業を支える労働者の確保が必要



ものづくり企業が集積する工業団地

であると考えているが、企業の雇用情勢について、どのように把握しているのか。

また、企業の人材育成に対する市の取組について問う。

答

市内企業の雇用情勢については、職員や株式会社西条産業情報支援センターのアドバイザーが企業を訪問することにより、聞き取りを行っている。しかし、労働者側からの意見や要望については、情報を得る機会がじゅうぶん設けられていないことから、今後、情報を得ることができると期待し、雇用情勢の把握に努めたい。

取組について問う。

また、今後、本庁をはじめ、公共施設において完全禁煙を実施する考えはないか。

答

本計画の中では、たばこに関し、分煙・禁煙・防煙の実施を目標に、市民による禁煙や行政による健康教育などの対策を掲げ、さまざまな取組を実施してきた。平成24年度には、禁煙に関する健康講座や特定保健指導時の個別健康相談、両親学級での禁煙啓発の講座などを実施している。これまでの取組の結果、個人の禁煙対策についてはある程度改善がみられており、今後も継続して取り組みたいと考えている。

また、産業界などとの連携を強化し、地域ぐるみで人材育成に取り組み、新たな企業の立地や地元企業の事業高度化に近づきたいと考えている。

どう取り組む？

公共施設の完全禁煙

(西条市民クラブ)

問

本市では、平成18年3月に栄養・生活など7項目について達成の目標値を示した健康づくり支援計画「元気都市西条2015」を策定した。計画策定後の禁煙など、たばこに関する

また、主要な公共施設では、現在、敷地内禁煙30・7パーセント、建物内禁煙60・8パーセントとなっており、禁煙対策は91・5パーセントまで進んでいる。しかしながら、本庁では分煙措置を行っているため、健康増進法の規定などからも、禁煙対策は喫緊の課題であると認識している。現在建設中の新館の供用開始時期に合わせ、原則として建物内禁煙とする方向で検討を進めている。